


地域の良好な景観資源 リスト		7	檜山振興局
		02	上ノ国町
No.	名称	写真	説明
1	「上ノ国寺本堂」 国登録有形文化財 場所：檜山郡上ノ国町 字勝山416番地		草創は古く嘉吉3年(1443)と伝えられる北海道有数の古刹。現本堂の建立年代は宝暦7年(1757)か8年であると考えられています。北海道における18世紀に遡る数少ない仏堂建築として貴重です。
2	「上ノ国八幡宮本殿」 町指定文化財 場所：檜山郡上ノ国町 字上ノ国238番地		文明5年(1473)武田信広が勝山館内に館神として創祀した、北海道神社史上重要な社。本殿は明和7年(1770)の建立で北海道内に現存する神社建築では最古に属し、明治9年に本殿を現在地に遷し、江差町から金毘羅堂を移設し、拝殿としました。
3	「旧笹浪家・付属土蔵」 国重要文化財 場所：檜山郡上ノ国町 字上ノ国236番地		笹浪家は代々鯨漁などを営んできた旧家の一つです。初代は享保年間に能登国笹浪村から松前福山に渡ったとされ、後、上ノ国に移り住み、当主は代々久右衛門を襲名しました。旧笹浪家住宅は、19世紀の前期に五代目久右衛門が建てたといわれています。
4	天の川		天の川は渡島山地の分水嶺に源を発する、豊かな流域延長28.6kmの二級河川です。元和4年(1618)キリスト教イエズス会の宣教師ジェロニモ・デ・アンジェリス(イタリア・シシリー島出身)がひどい嵐のため上ノ国の天の川付近に上陸し、陸路松前に向かった。ヨーロッパ人の最初の北海道上陸である。3年後アンジェリスは蝦夷地図を作成しているが上陸した地点に「ツガ」と表記されていたことから、上ノ国の古名ツガ(テガ)の漢字表記「天河」が天の川の名前の由来であると言われています。
5	夷王山 場所：檜山郡上ノ国町 字勝山		標高159mの景勝地。山頂からは、上ノ国市街はもとより、日本海に浮かぶ奥尻と大島の島影、旧熊石、旧大成町方向へ延びる海岸線が一望できます。付近一帯には約500種の山野草が咲き乱れ、エゾヤマツツジの名所としても有名です。

様式3

地域の良好な景観資源 リスト		7	檜山振興局
		02	上ノ国町
No.	名称	写真	説明
6	「勝山館跡」 国指定史跡 場所：檜山郡上ノ国町 字勝山		勝山館は、松前氏の祖である武田信広 が15世紀後半に築いた山城で16世紀末 頃まで武田・蠣崎氏の日本海側での政 治・軍事・北方交易の一大拠点でありま した。

様式4

主要な展望地 リスト		7	檜山振興局
		02	上ノ国町
No.	名称	写真	説明
1	天の川橋		橋長は118m、幅員15.5m。高欄のデザインがかささがが羽を連ねて、橋をつくっている様子が特徴です。また、橋の高欄の間にある黄道2星座の星座絵を浮き彫りにした銅板のレリーフ。夜には、星座を形作る恒星がきらきら光ります。橋からは天の川、日本海の望むことができます。(地域の良好な景観資源リストNo.4(天の川)の対象)
2	きらきらお星様公園 場所: 檜山郡上ノ国町字大留		天の川の右岸にある公園で、対岸の左岸にはのんびりお月様公園があり、四季の花々が訪れた人に安らぎを与えてくれます。公園からは天の川を望むことができます。(地域の良好な景観資源リストNo.4(天の川)の対象)
3	北海道夜明けの塔 場所: 檜山郡上ノ国町字勝山		ヒノ国の開基800年を記念して八幡牧野の丘陵地・中世の丘に造られた、シンボルタワーで中世の環境造形と現代感覚の造形との出会い、太陽や風などの自然と人間との交感を基本テーマとしてデザインされています。(地域の良好な景観資源リストNo.5(夷王山)の対象)
4	勝山館跡ガイダンス施設 場所: 檜山郡上ノ国町字勝山427番地		勝山館跡ガイダンス施設では模型や映像で勝山館を案内しています。館内の中央に置いた勝山館の200分の1の復元模型は、正面のガラス越しに見える現地の勝山館跡と見比べることで、より高い臨場感を得られるものとなっています。(地域の良好な景観資源リストNo.6(「勝山館跡」国指定史跡)の対象)